

富山県ものづくり大賞について

富山県ものづくり大賞は、本県産業・文化の発展を支え、豊かな県民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させていくため、高度な技術開発により県内「ものづくり」の活性化に寄与した企業を顕彰するとともに、ものづくり機運の一層の醸成を図ることを目的とします。

○ 応募資格

富山県内に本社、主たる事業所、研究開発拠点またはそれに類する施設を置く製造業を営むものづくり企業（自薦または工業会や経済団体等からの推薦による応募）

○ 審査対象

概ね3年以内に開発や商品化された技術又は製品



主催／富山県

共催／北日本新聞社

協賛／(一社)富山県経営者協会、富山県商工会議所連合会
富山県商工会連合会、富山県中小企業団体中央会

後援／(一社)富山県機電工業会、富山県プラスチック工業会
(一社)富山県アルミ産業協会、(一社)富山県繊維協会
(一社)富山県薬業連合会、富山新聞社
NHK富山放送局、北日本放送
富山テレビ放送、チューリップテレビ
(一社)富山県ケーブルテレビ協議会

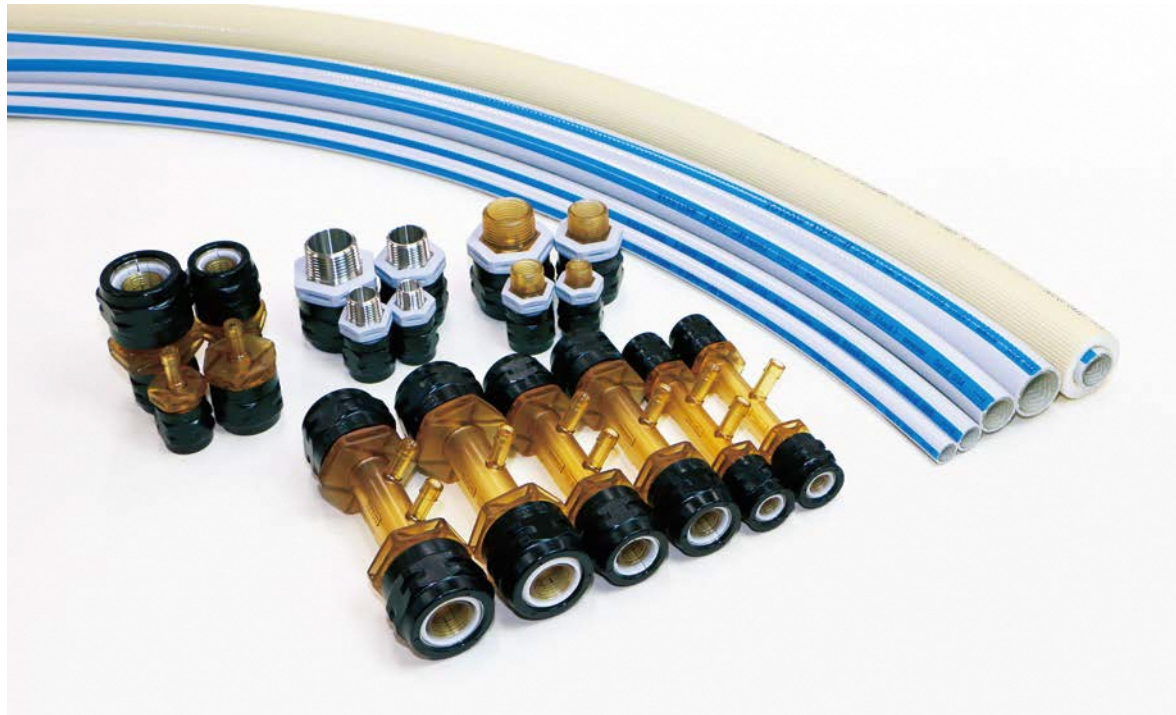
第8回 富山県ものづくり大賞

令和5年2月1日(水)

大賞

株式会社トヨックス

透析医療用の送液積層フッ素ホース および継手の製品開発



受賞技術・製品の内容

別々のメーカーが作っていたホースと継手を同時開発し、柔軟で折れにくい、着脱しやすく漏れ・抜けがない、洗いやすく細菌や汚れが付きにくい等、医療現場が求める特性を備えた透析用配管システムを実現した。

受賞理由

従来は、様々なメーカーのホースと継手が混在しており、施工管理が複雑で、ホースから液が漏れたり、ホースが外れたりなどのトラブルを招くリスクがあった。

本製品は、実際の透析医療現場で6年余り検証を重ねて開発され、病院側と機器メーカーの課題や要望、問題点などが直接反映された、優れた製品である。現在国内でおよそ35万人といわれている透析患者の数は増え続けており、透析治療の施工性と衛生管理の向上に大きく貢献するものと期待される。

優秀賞

株式会社タニハタ

組子「麻の葉ちらしシリーズ 全18種」



受賞技術・製品の内容

日本の自然をコンセプトに、日本伝統の和柄である吉祥文様「麻の葉」をパネル全体に散らすことでデザインを施した組子シリーズ。18種のデザイン、3つのタイプから選ぶことができる。



麻の葉
Asanoha

八重麻の葉
Yae-asanoha

変わり麻の葉
Kawari-asanoha

木の肌触りや色合い、香りを生かすために、木材の表面に塗装仕上げを行わない「無塗装」を標準とし、現場寸法にあわせて組子職人がオーダーメイドで製作することで、新しいタイプの和風装飾品を実現した。

受賞理由

伝統木工技術「組子」の従来の課題である、耐久性・強度、納期、コスト等の課題を解決し、大空間に組子を使用できる製品を開発した。

意匠性の高いインテリア商材として、新たな分野への市場拡大など、今後の成長性が期待される。